
ふたなり
聖女様の
ラブ点



※ご注意

この作品には

ふたなり×女要素

が含まれます。

この作品はシリーズものです。
過去作と世界観を共有しておりますが、
本作単体でもお楽しみいただけます。

古くから
伝わる
おとぎ話がある

かつて聖女は
自分が最も愛する者に
祝福を分け与え
不死としたが

相手は人としての
死を望み

しかし彼女自身も
その祝福の
解き方が
わからなかった

祝福とは
すなわち呪い

良かれと思って
やったことが
必ずしも
良い結果になるとは
限らないという
そんな教訓のお話

満月の夜に
魔物が発情してしまう
世界でのお話。

登場人物



アナベラ

教会が有する最高権力者、「聖女」の一人。

魔法の天才。

大好きなマノアを自分の傍に置くべく
天賦の才能を発揮して聖女となった。

発情したマノアを抱くために
術式でtntnが生える。



マノア

ミノタウロスのシスター。

前作の後、アナベラ専属の護衛として
教会中央本部へ異動している。

デカい。むちむち。

ミノタウロスのメスの特性で、
満月が近づき、発情すると
母乳が出る。

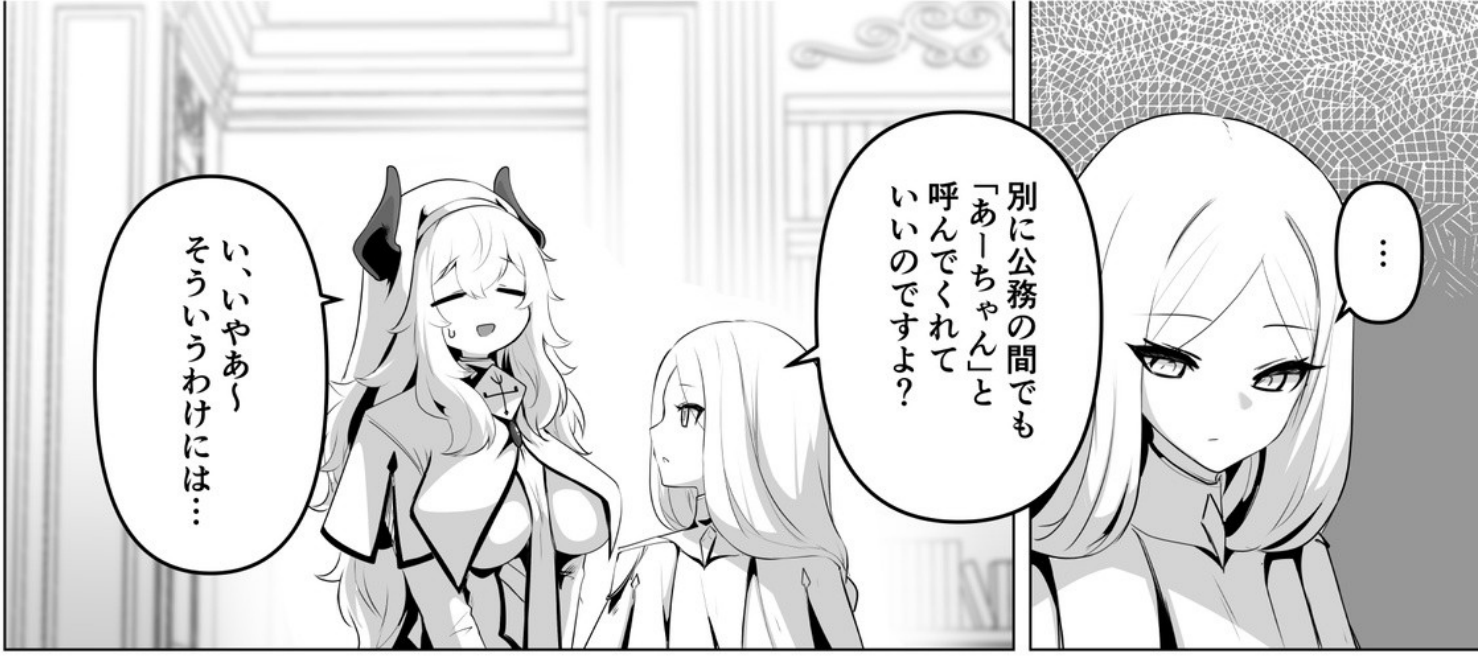


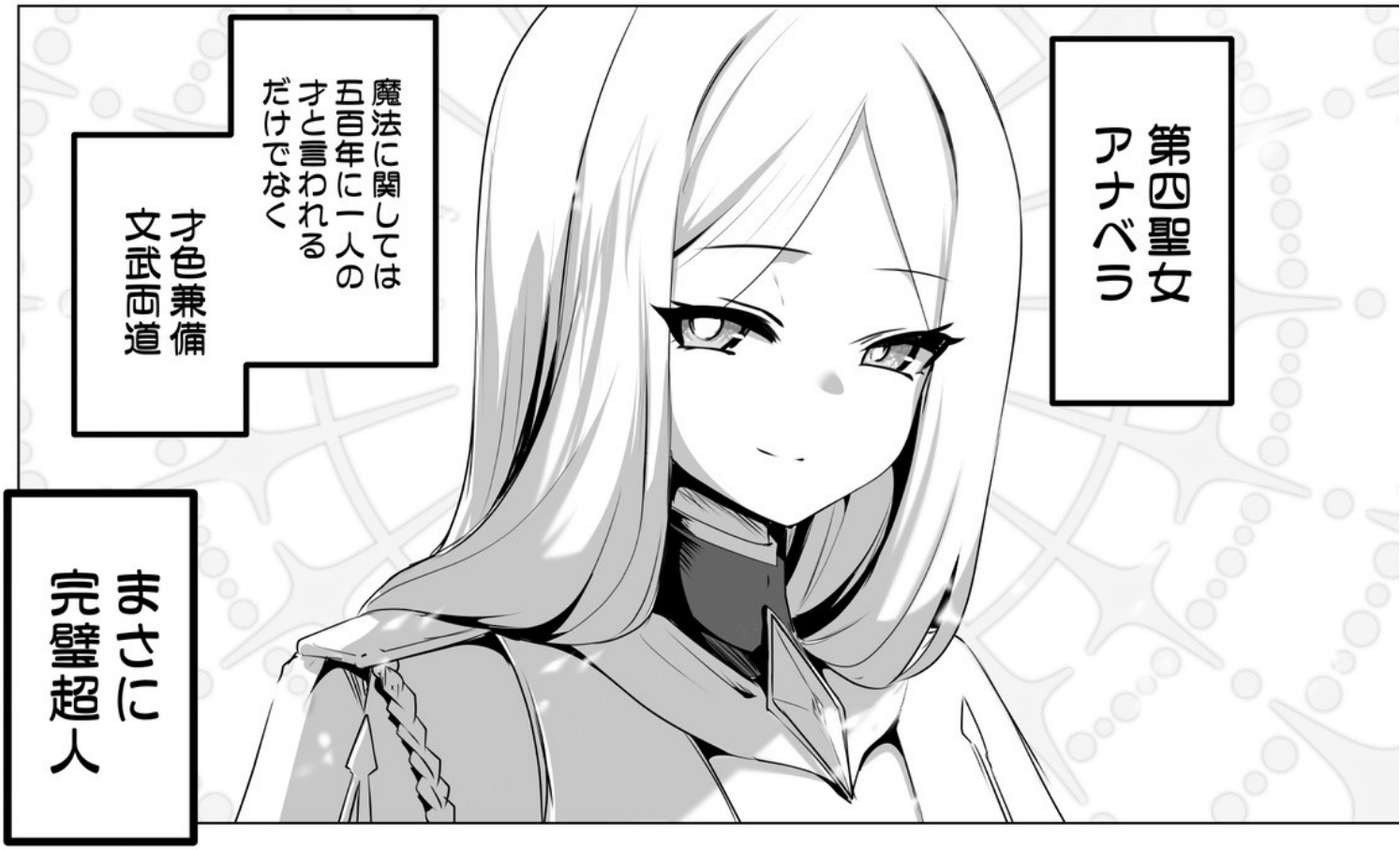
私が中央に
移動してから
約一か月



今日も私は
あーちゃんの
専属の護衛として
働いています

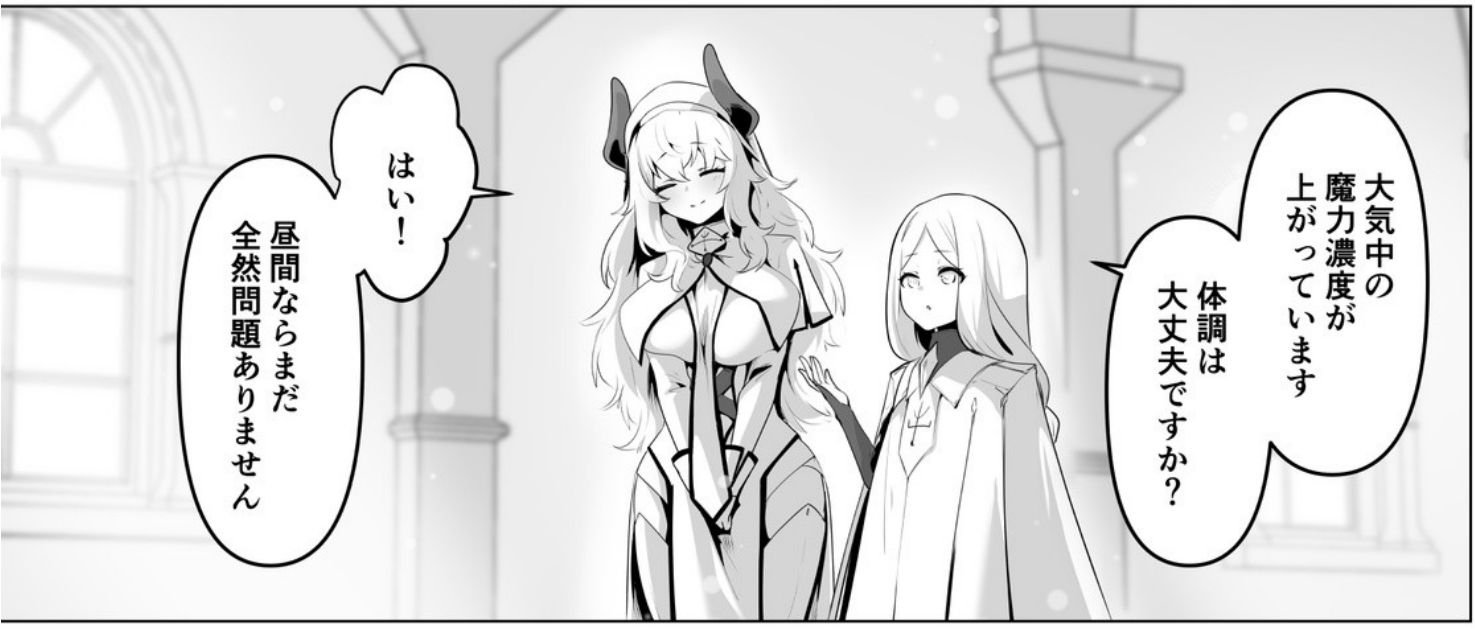


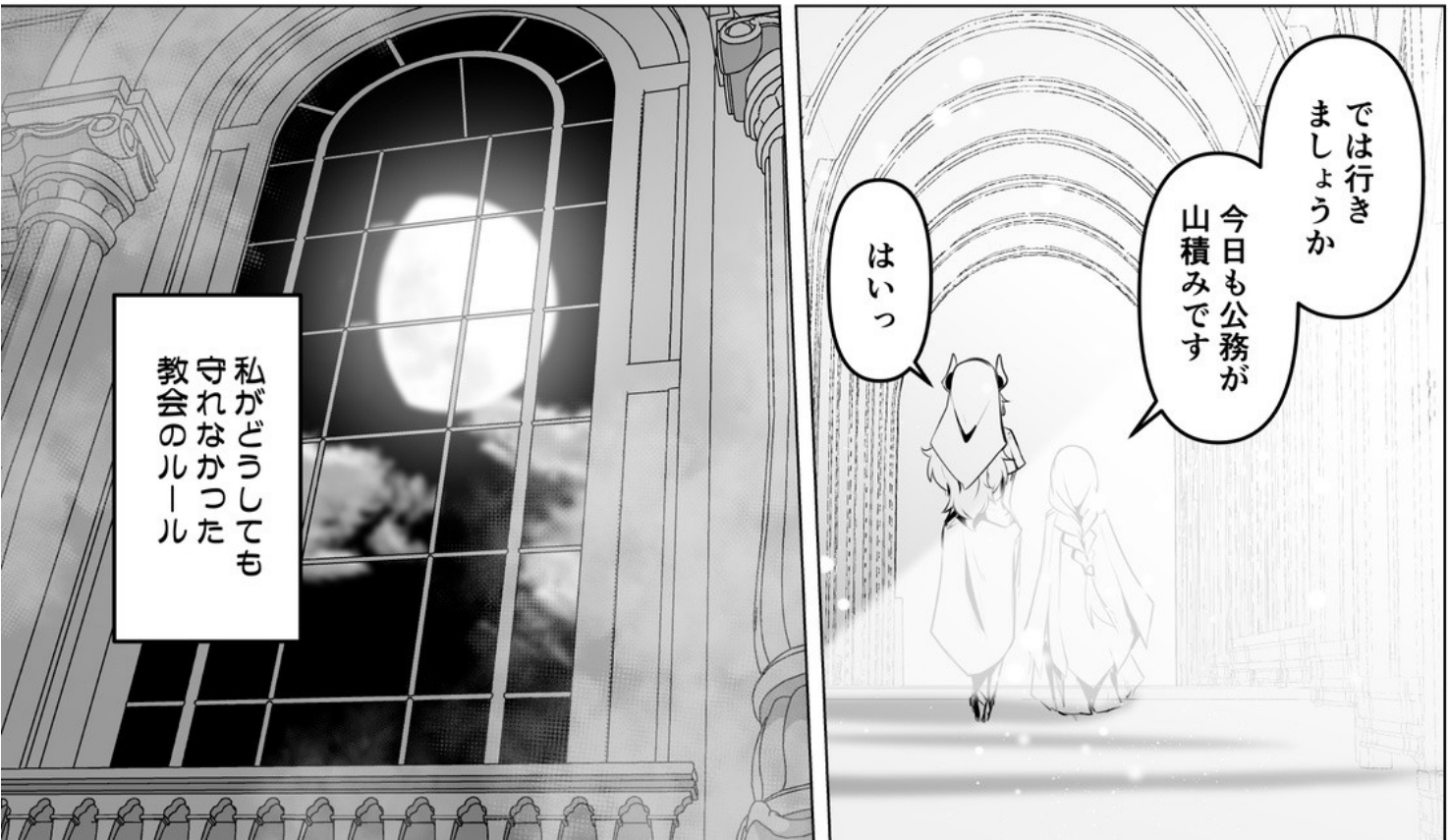

…
別に公務の間でも「あーちゃん」と呼んでくれていいのですよ？
い、いやぁ～そういうわけには…

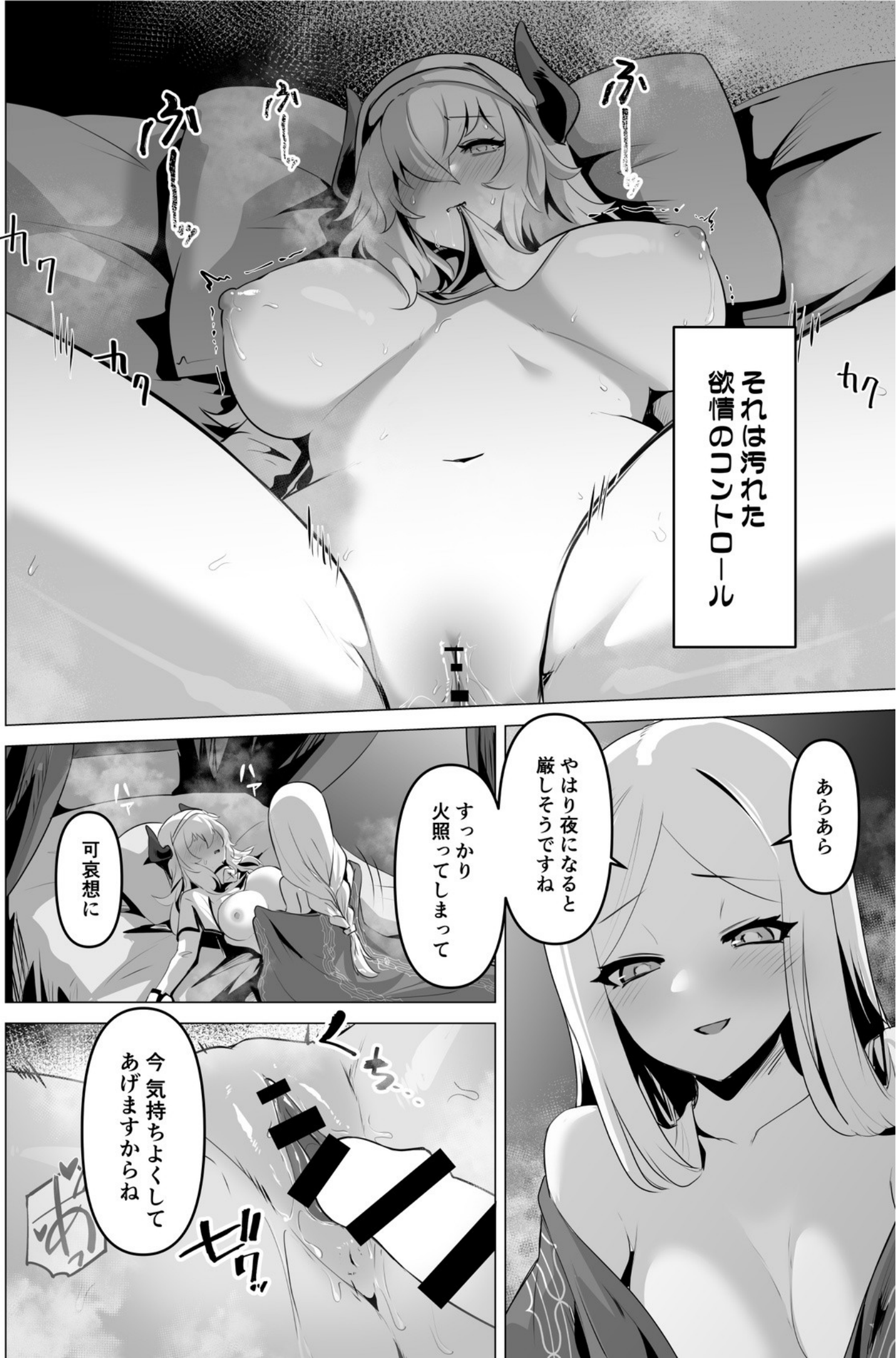

第四聖女
アナベラ
魔法に関しては五百年に一人の才と言われるだけでなく
才色兼備
文武両道
まさに
完璧超人


そして魔物である私が教会に居続けられるように
全てを捧げてくれた人


前回のざっくり要約
魔物の特性で
どうしても教会の掟を
破ってしまうマノアを
見たアナベラは
教会のルールが
マノアを苦しめる
のなら
ルールを
変える側に
なればいい
と決意し、
魔法の才能で
ゴリ押しして
教会の最高権力組織に
入ることで
マノアを直接
自分の庇護下に置き
守ることに
成功しましたとさ
しく
しく


大気中の
魔力濃度が
上がっています
体調は
大丈夫ですか？
はい！
昼間ならまだ
全然問題ありません


では行き
ましょうか
今日も公務が
山積みです
はいっ
私がどうしても
守れなかった
教会のルール


それは汚れた
欲情のコントロール
あらあら
やはり夜になると
厳しそうですね
すっかり
火照ってしまって
可哀想に
ハァ
ハァ
今 気持ちよくして
あげますからね
あっ


にゅぷっ♡
ズチュ
ズチュ
あ～♡
ぐりっ♡
ぐりっ♡
あと数日で
月も満ちますし
無理もありません
おぉぉ
逆に寝所まで
よく耐えました
たくさん
お果てなさい
おぉぉぐぅ♡


月から降り注ぐ
魔力は魔物を酔わせ
本性を
あぶり出す
多くの場合
それは性的欲求
という形で
発露する
パン
パン
パン
パン
あっ
あぁ
ぶるん
ぶるんっ
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱんっ


ぴゅっ
あ♡あッ
ぴゅっ
ニャ
ぷにゅ
ぷにゅ
ちゅぷっ♡
ぺろ～♡
あ♡あ♡あッ♡
れろっ♡
れろっ♡
れろ～♡
あ♡
あ♡
イクッ♡イクッ♡イクッ♡
ドチュ
ドチュ
ドチュ


イッ…♡
ビクンッ♡
ビクンッ♡
ぢゅうう
あっ♡
あぁっ♡
プルンッ♡
ドボッ
ふむ…
やはり絶頂と同時に
精を注がれると
そり激しく
果てるようですね
どろぉ…

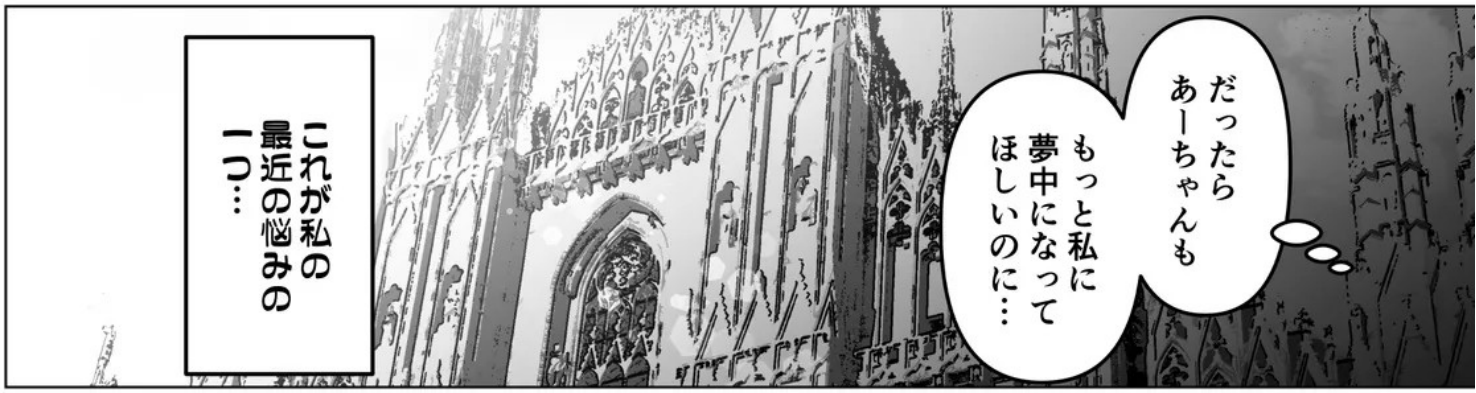

あなたの好みも
随分とわかって
きました
は～ッ
アッ
ゼクッ
は～ッ
私は幸せ者
ですね
あなたのこんな姿を
独り占めできるの
ですから
あァ…っ
ゼクッ

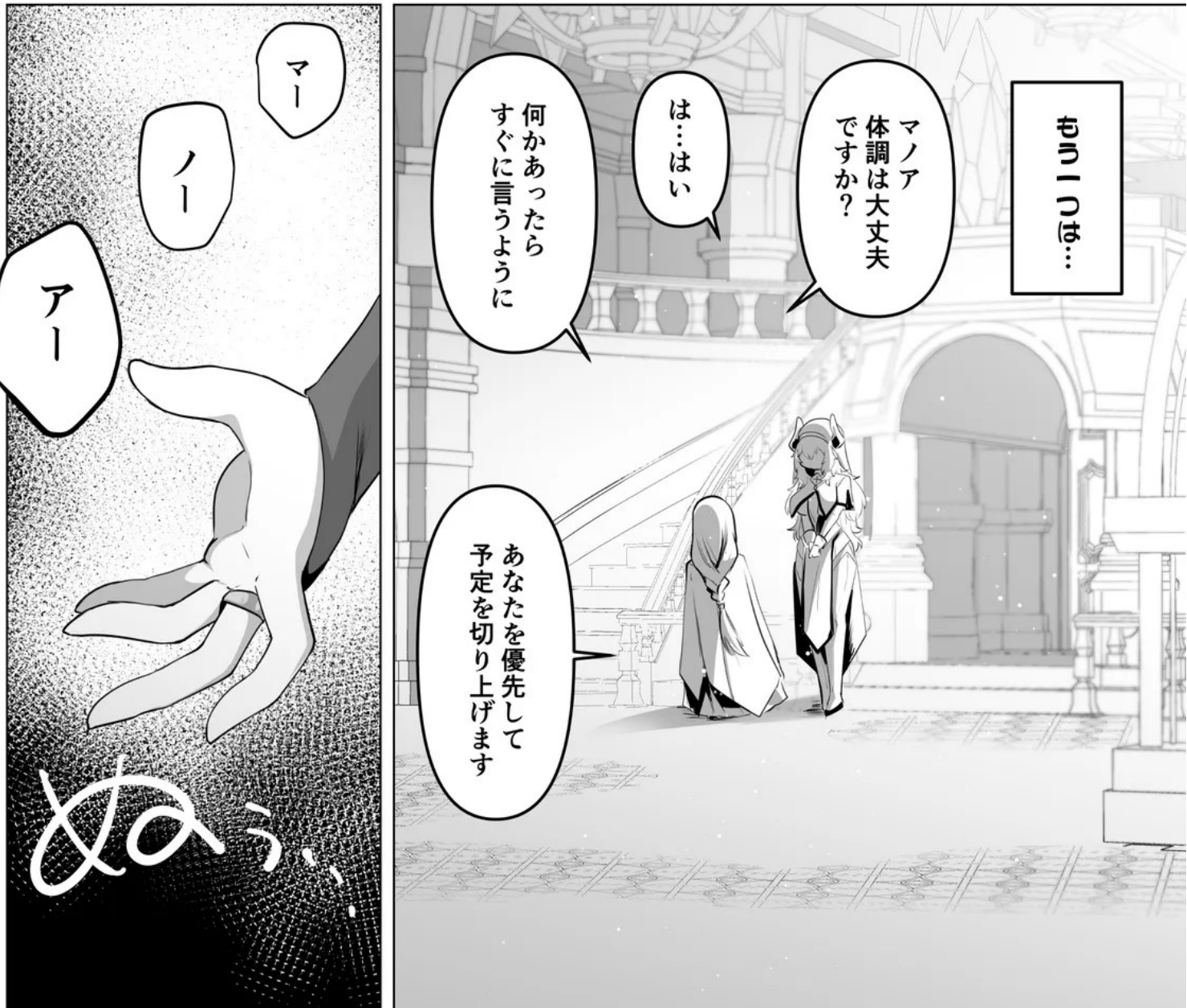

残された時間
ちゅ
大切に
しましょうね


初めての夜は
激しかったけれど
それ以来
あーちゃんは
ずっと私のことを
優先して
ぱちっ
ぱちっ
ぱちっ
ぱちっ
私の身体を
満たすこと
だけを考えて
くれている
あッ♡
あッ♡


落ち着いたら
汗を流しに
行きましょう
なで
なで


さっきも私が
一番気持ちよくなる
瞬間に射(だ)して
くれてたし
そのあたりの
コントロールも
しっかりしてるん
だろうなぁ
残された時間…
かぁ


だったら
あーちゃんも
もっと私に
夢中になって
ほしいのに…
これが私の
最近の悩みの
一つ…


もう一つは…
マノア
体調は大丈夫
ですか?
は…はい
何かあったら
すぐに言うように
あなたを優先して
予定を切り上げます
マー
ノー
アー
ぬぅ…


ちゃん！
わぁあああ!?
ヴィヴィアン様!?
あら？
この前より
おっぱい
大きくなった？
第3聖女
ヴィヴィアン様
私が中央に来た時から
こうして激しい
スキンシップを
してくる方
決して悪い方では
ないのだけれど…
あーそっか
満月近いもんね～
おっぱい
張るよわよね～
うへへ
あの…お戯れも
ほどほどにして
いただけませんと…

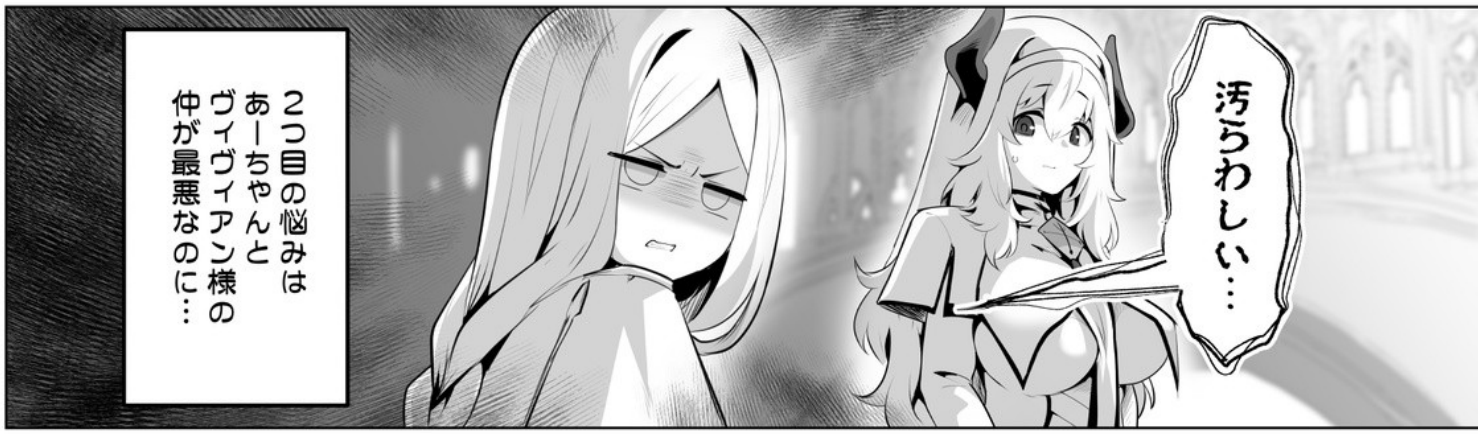

えー
いいじゃないの
おっぺぇの
一つや二つ
減るもんじゃ
ねっ
こうなっちゃいますからー！
あぁ
あ
ぱしっ
す…っ

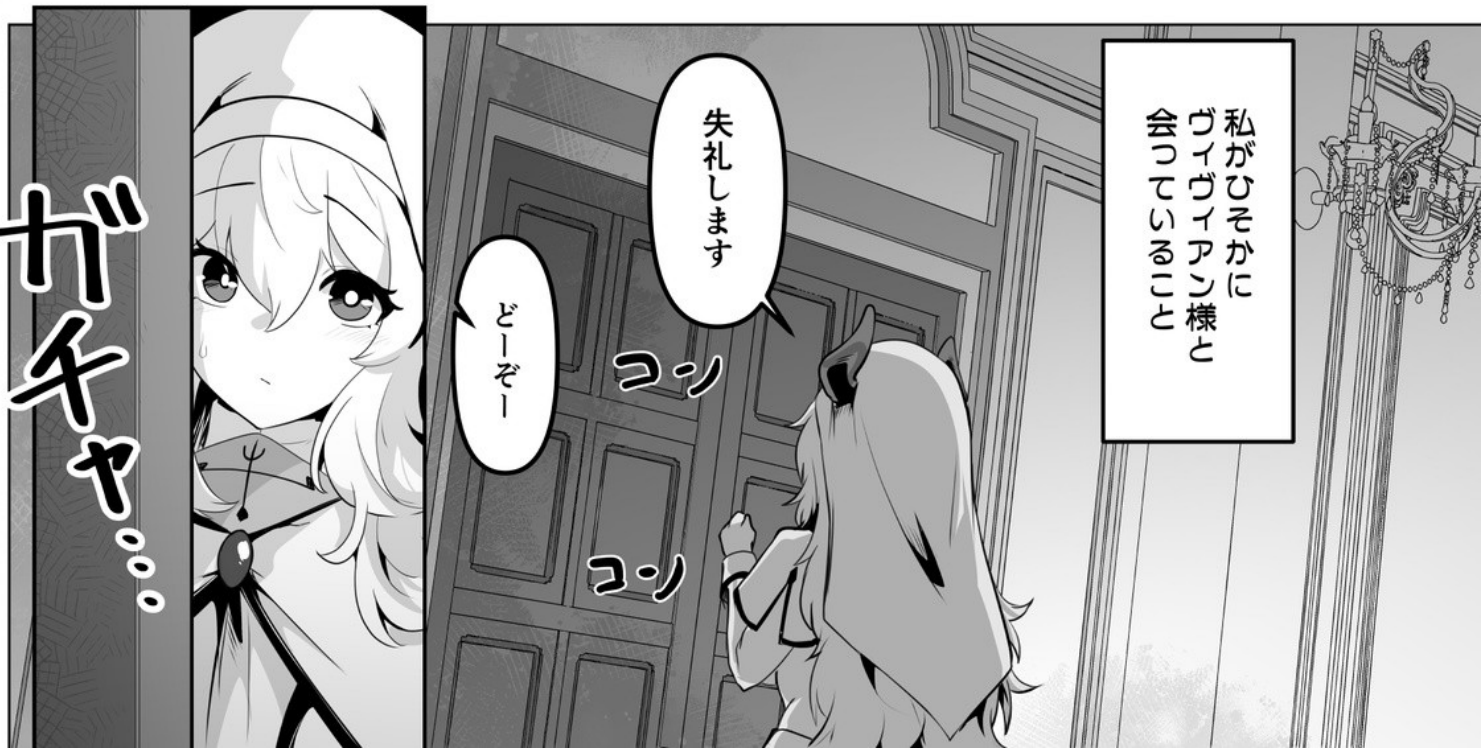

あらやだ
びっくり
死ぬかと
思った


冗談は
おやめなさい
聖女が
殺されたくらいで
死ぬわけない
でしょう？


行きますよ
マノア
は、はい
失礼いたします
ヴィヴィアン様
マノアちゃーん
また今度
一緒に遊びましょ


サイコーの
夜の過ごし方
おねーさんが
教えてあげる❤


汚らわしい…
2つ目の悩みは
あーちゃんと
ヴィヴィアン様の
仲が最悪なのに…


私がひそかに
ヴィヴィアン様と
会っていること
失礼します
どーぞー
コン
コン
ガチャ…

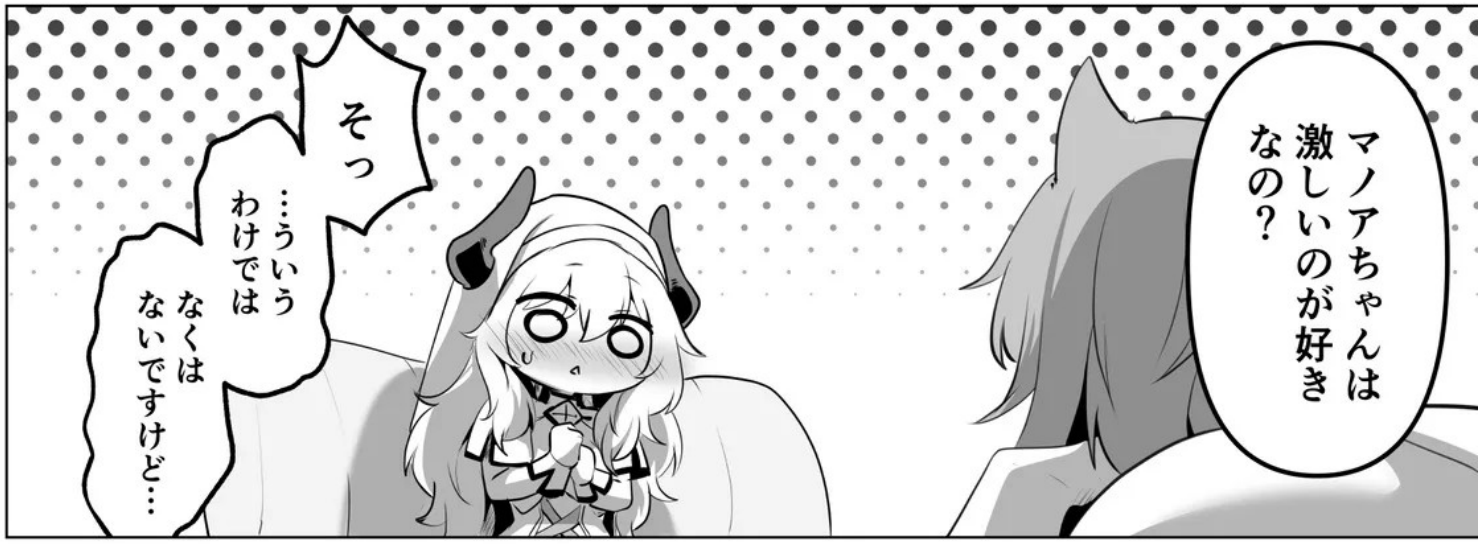

来たわね
マノアちゃん
ぱら
さぁさどうぞ
座って座って
アナベラは？
王族の方と
非公開の
会談中です
じゃぁ
今のうちね


で？
その後はどう？
なにか
進展はあった？
それが…


相変わらず
あーちゃんは
私を「祝福」してくれる
気はないみたいです


聖女から「祝福」を
受けたものは
聖女と同様に
不老不死になる
ただし一度
「祝福」してしまえば
聖女本人にも
解除できない
危険な術でもあるわ
アナベラが
引っかかってるのは
ここでしょうね


あと…
初夜の時は
あんなに激しく
求めてくれたのに
それ以来は
あまり積極的
じゃないというか
ただ私を満たすため
だけに抱いてくれて
いるというか


マノアちゃんは
激しいのが好き
なの？
そっ
…ういう
わけでは
なくは
ないですけど…

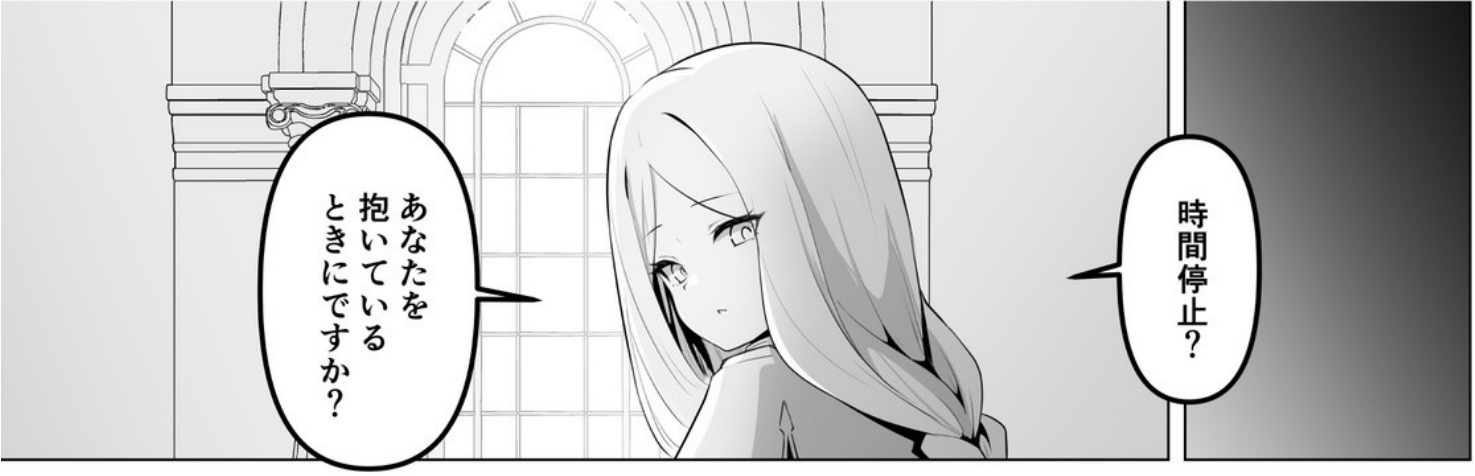

私の取り柄は
おっぱい
くらいしか
無いので！
自分で
言うんだそれ
本音を言えば
私はあーちゃんからの
「祝福」が欲しい
でも無理に
お願いするのも
違うかなって


あーちゃんは
確かに天才で
凄く大人びて
見えるけど
中身は私と
同じ年の
女の子の
はずなんです
本当ならもっと
他人に甘えたり
わがままを
言ったって良い
このままいけば
私はいつか
老いて死んでしまう
あんなに頑張って
聖女になってまで
私を傍においてくれたのに
私は何も
返せないまま
また彼女を
一人にしてしまう


だから私は
例え短い
時間であっても
私の全部を
あーちゃんに
捧げたいんです


てえてえ～
てぇてぇ…？


任せなさい！
男も女も
喰い漁って来た
このおねーさんが
ズバッと解決して
あげるわ！
はい！
お願いします！
作戦その1


時間停止？
あなたを
抱いている
ときにですか？


……
アナベラが
マノアちゃんとの
行為に集中できてない
理由はだいたい
予想がつくわ


あの子マノアちゃんを
抱いてるとき
ず～っと周囲に
結界を張ってるの
物理と魔法の遮断
だけじゃなく
視覚妨害に
認識不可
次元も少し
ずらしてるわね


この手の魔法って
頭のリソース
すっごい食うのよ
難しい計算問題を
並列にず～っと解き
続けてる感じ
魔法の制御
おっぱい
おっぱい
おっぱい
そりゃ好きな女の
おっぱいを
目の前にしても
夢中になるのは
難しいでしょうね
じゃぁ
具体的に
どうすれば…
まぁ
やめてと言って
やめてくれる
女じゃないでしょう


だったら
逆に他の魔法を
もっと使わせて
脳の制御中枢を
オーバーヒート
させちゃいましょ
新たな
プレイもできて
一石二鳥よ～
そうかなぁ!?


ばちんっ
ビクンッ
ビクンッ


いや～
その…
えっちな小説とかで
よくあるらしくて
実際にやったら
どんな感じなのか
だっ
す…っ


え…なに？
今一瞬でイッた？
ビクッビクッ
ビクッビクッ
ガクッ
ガクッ
ガク
レロォ♡
こんな感じでしょうか
キィィ…

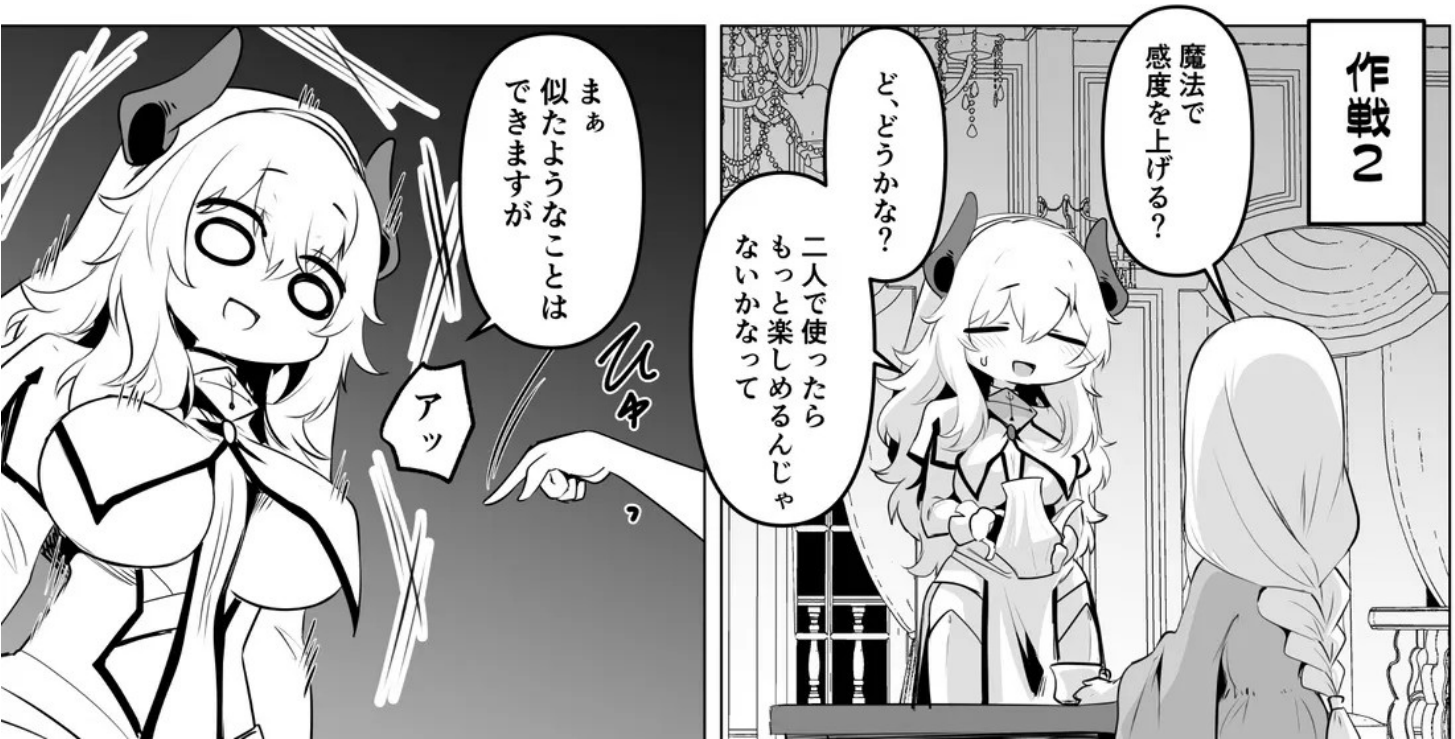

しかし意外でしたね
あなたからこんなプレイを望んでくるなんて
五百年に一度の天才
舐めてたわけじゃないけど…


レ…


ぷちん。
あぁやはり
快感は術を解除した
瞬間に一気に
来るのですね
んおお
ぱしゃッ
強すぎ――!!
ぷちん。
4回…
いえ5回
イきましたか
膣内の感じで
わかります
ガクンッ
ガクンッ
ガクンッ
イグッ
イクッ
すごーい


あっ♡
たまには
こういうのも
悪くないですね
あぁっ♡
ハァン
ハァン
ハァン
クリ
クリ
一方的に蹂躙され
失敗！
あっ♡


多重結界と
時空間系魔法
同時に使って
ピンピンしてた？
はい…
全然余裕そう
でした
そっかー


作戦2
魔法で
感度を上げる？
ど、どうかな？
二人で使ったら
もっと楽しめるんじゃ
ないかなって
まぁ
似たようなことは
できますが
アッ

あぁああ
違うの

私にやっても
意味ないでしょう？

あなたを
満たすために
抱いている
のだから

ぞくぞく

ぞくぞく

ぞくぞく

ズッ

ズッ

ズッ

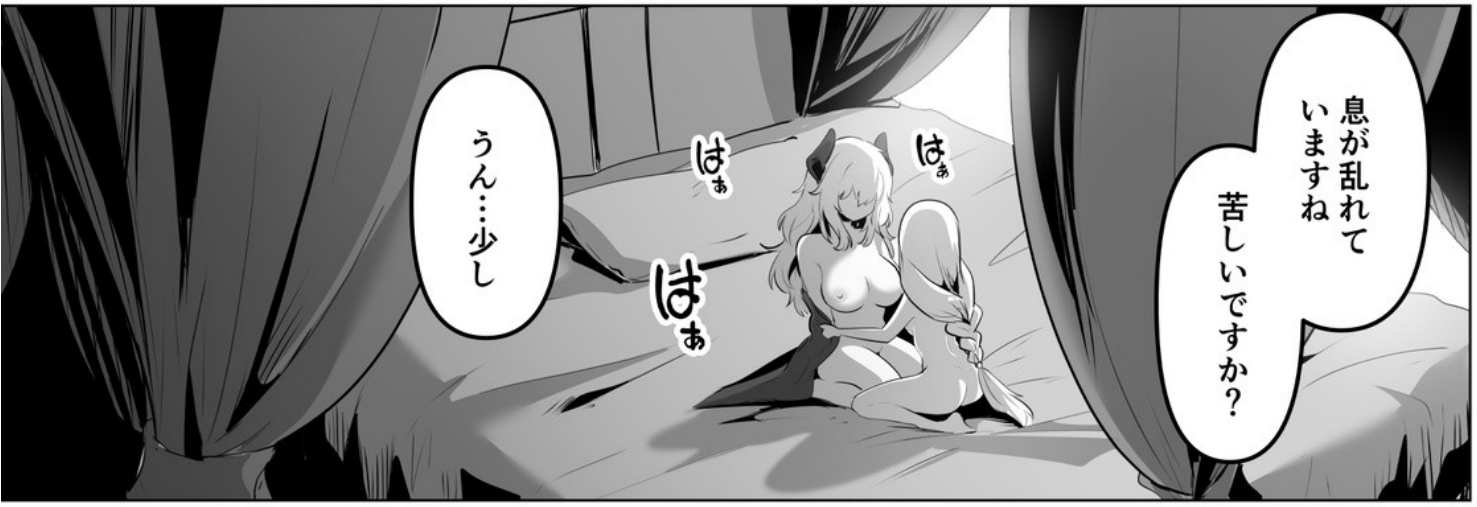

お♡
お♡
ビクッ
ビクッ
ガク
ガクッ
ガク
ドロォ
はぁ～♡
あーちゃんに
気持ちよくなって
もらわないと
意味ないのに…
はぁ～♡
明日は
いよいよ満月
ぐり…
ちゅっ♡
ちゅっ♡
んぁ♡
あなたが
満足するまで
何度でも
抱いてあげます
からね
ぴっ
んん♡


ダメでした
う～ん
肉体への干渉は
繊細なコントロールが
必要なんだけど
さすが天才！
HA HA HA


でも
それじゃぁ
困るのよねー…
私がさぁ


そろそろ
とっておきを
出す頃合いかしら
言ったでしょ
最高の夜の
過ごし方を
教えてあげるって
え？


その夜


息が乱れていますね
苦しいですか？
はぁ
はぁ
はぁ
うん…少し

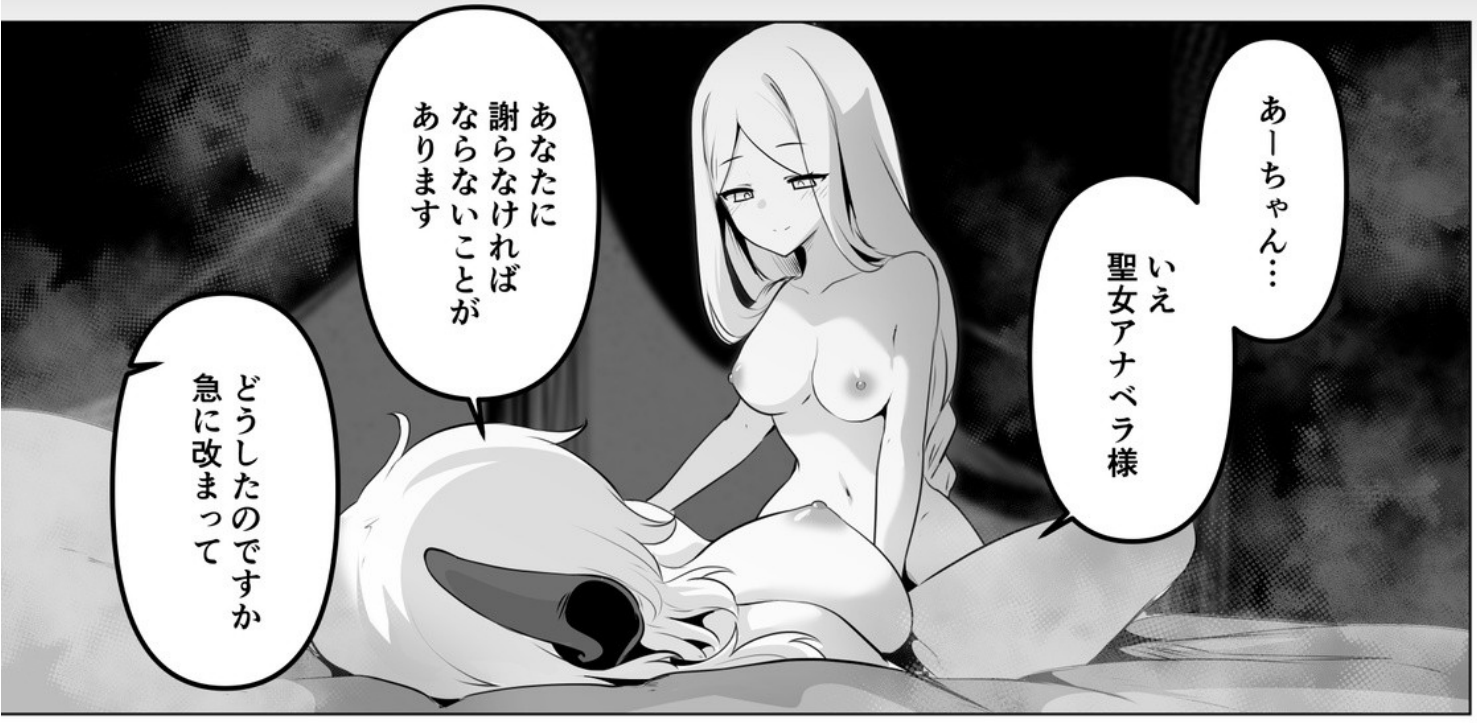

始めましょうか
ちゅ
ん♡
どさっ
ハァ
ハァ
ハァ
あ…
ホントだ


キィィィ
結界…
うっすら見える
そんなやり方が…


でもそれでは
ヴィヴィアン様が
悪者になって
しまいます！
あらやだ
優しい
こんな泥棒猫には
もったいない
お言葉だわぁ


1千年以上
生きてるとね
若者の恋路を
応援するくらいしか
楽しみが無いのよ
この時のために
あなたたち二人に
ちょっかい出して
きたんだから
有効に使って
もらわないと


アナベラの性格上
この方法はそこらの
高等魔法より
ずっと強力よ
ガツンと
喰らわせて
やりなさい


あーちゃん…
いえ
聖女アナベラ様
あなたに
謝らなければ
ならないことが
あります
どうしたのですか
急に改まって


キリッ…
私の罪を
今ここに
告白します


私は今日
ヴィヴィアン様と
彼女のお部屋で
二人きりで
過ごしました


……は？
ピシ…ッ


あなたという人が
ありながら
誘われるままに
部屋に行き
扉に鍵をかけ
密室で二人で…
そして今は
満月にあてられ
ただ己の欲を
解消したいがために
ぬち…
あなたに
股を開いています
罪深い私に
どうか
裁きを
ハッ
ハァ
ハァ
にゃくっ


…これ…！
初夜の時と同じ感じ…っ
おぐっ
おほぉ♡
チカッ
チカッ

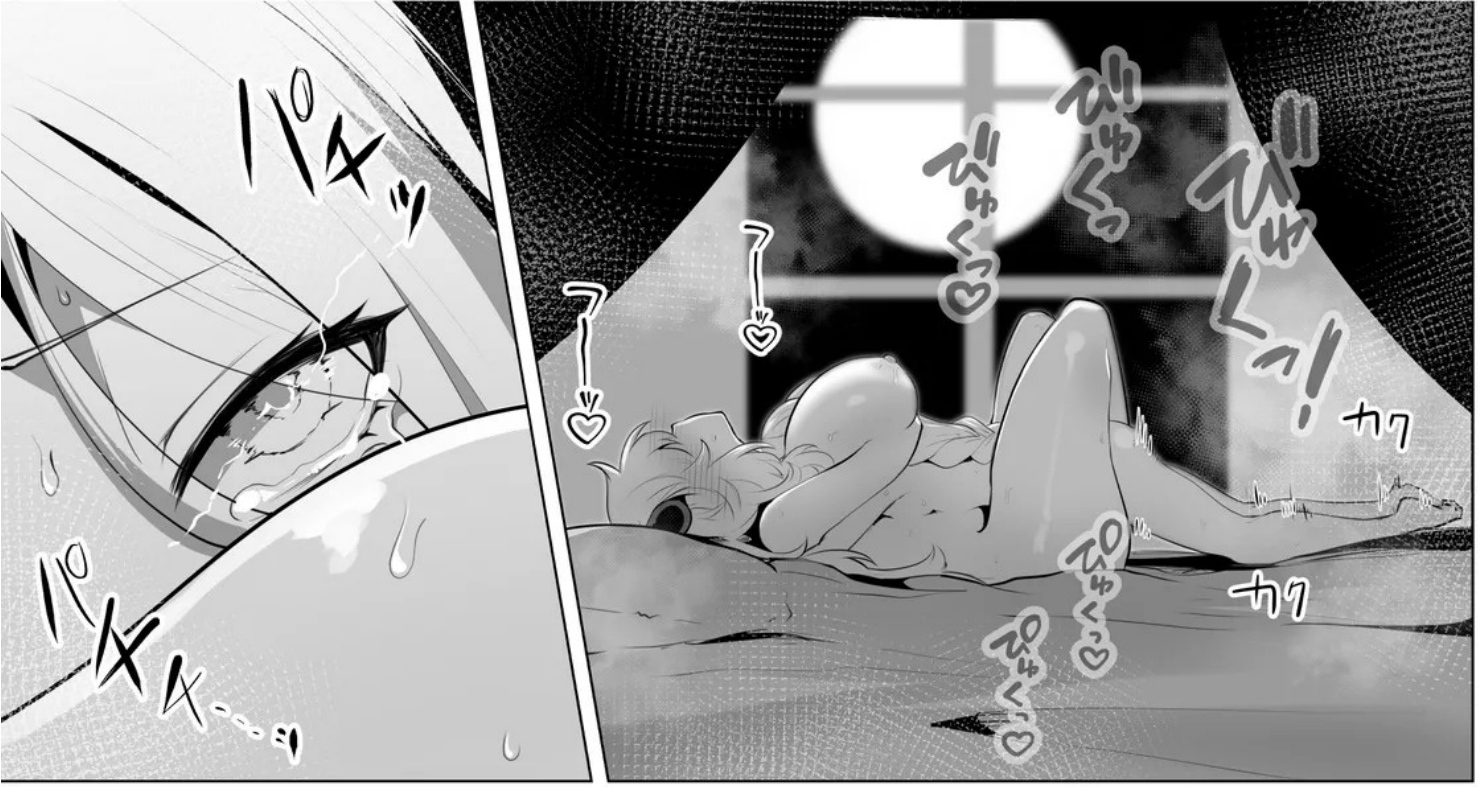

あの女ァ…
ハァ♡
ハァ♡
ビクッ
ビクッ


あっ
あの女
ズッ
ズッ
ズッ
あぁっ
ズッ
ぶん
あの女
あの女ァ…っ
パキッ
ピキッ
ピキッ
ピキッ
ピキッ
よくも私の…
ぎりぃ…
私の…っ
ぱたたっ


わたしのなのにぃ…っ
キュンッ♡
ぎゅう♡
!?
ビクッ
ビクッ


ぐぐぐ…
マ…ノア
いま
それだめ…っ！
クンッ♡
ギゃうううう
おんっ♡
射で
る…っ
射で
るっ
でちゃ
射だ
して
あーちゃん
おっ♡
頭の中
空っぽにして
欲望のまま
ぐ
ぐ
ぐ
あ♡…
パキッ
「これは私のだ」って
刻み付けて
あ♡


ハヒ♡…
ビリぼろっ
ビリビリビリ
ぺろっ
ビ
ビ〜〜〜♡


パチッ
びゅくっ!
びゅくっ♡
びゅくっ♡
びゅくっ♡
びゅくっ♡
パチパチ…


意地悪してごめんねあーちゃん
くて…
でも私この身体くらいしかあげられるものが無いから


今日は私が
うぅ…
たっぷり癒してあげるね
アッ…


ぬちっ♥
ぬちっ♥
ぬちっ♥
は〜い
おっぱい
ですよ〜
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ
あーちゃん
かわいい❤
赤ん坊みたい
いっぱい
飲んでね
ごくっ
ごくっ


ドピュルルッ♡
ホントだ…
術式を制御できなくなってる
一度制御中枢がパンクすると暫く魔法が使えないどころか
身体もろくに動かせなくなるから


たっぷり
犯してあげなさい
んッ♡
あぁあぁ♡
ガッ
ガッ
ガッ

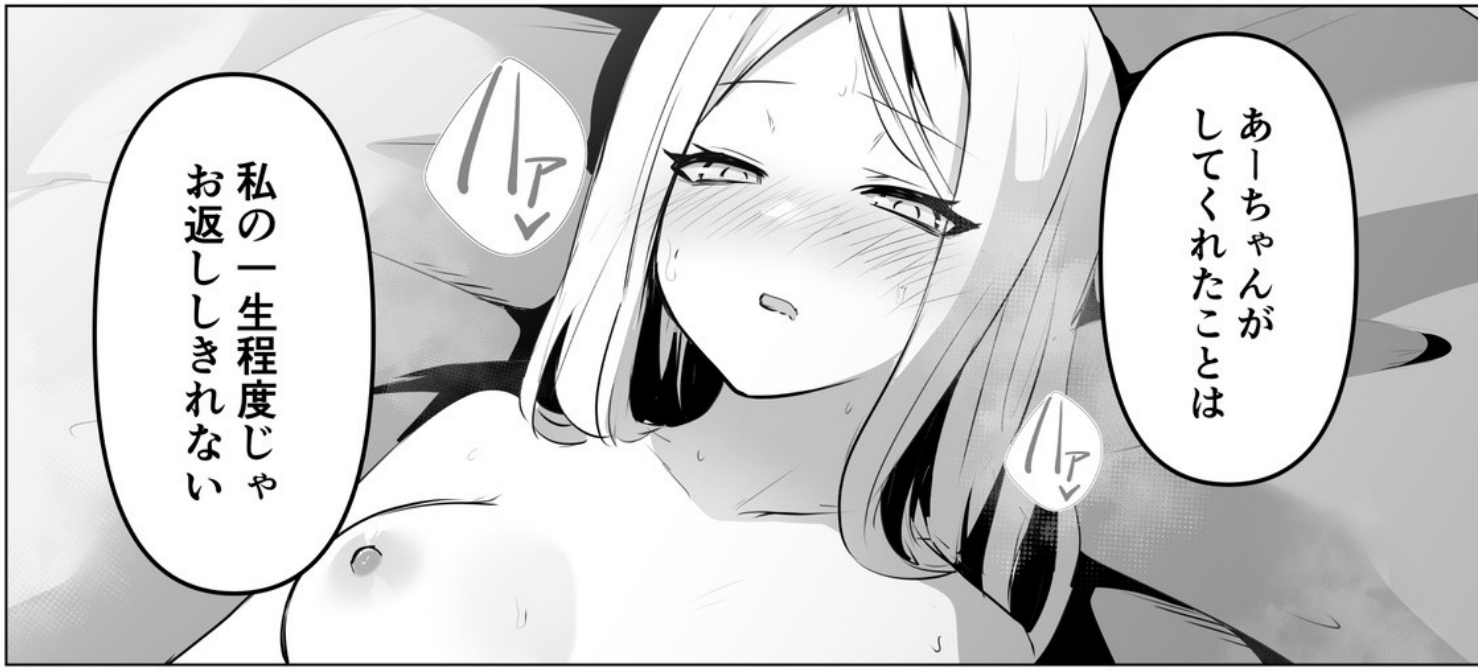

ぷはぁ
あは…っ♥
ぴゃっ
Mゃる
ちょっと射(で)てる
ギンゃっ
ギンゃっ♥


ヌルーッ
動くね
ズンッ
おッ
あ♥あ♥あッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ギュッ♥
だーめ♥
今は魔法
使えないよ
んむっ♥
ちんちん
気持ちぃことだけ
考えようね


あーちゃん
魔法の身体強化が
ないと
おぉ♡
おぉ♡
こんなにも
弱くて
ハァ♡
おぉぉ♡
細くて
可愛らしいんだ
ハァ♡
たんっ♡
かわいい…❤
ハァ♡
たんっ♡
たんっ♡
かわいい…っ❤
大好き
あーちゃん
おぉぉ♡
おぉ♡
ぷしゅっ


どくっ
どくっ
「めるる～」
おちんぽ～♡
アソコ
はぁ～♡
はぁ～♡
ん～♡
ちゅう

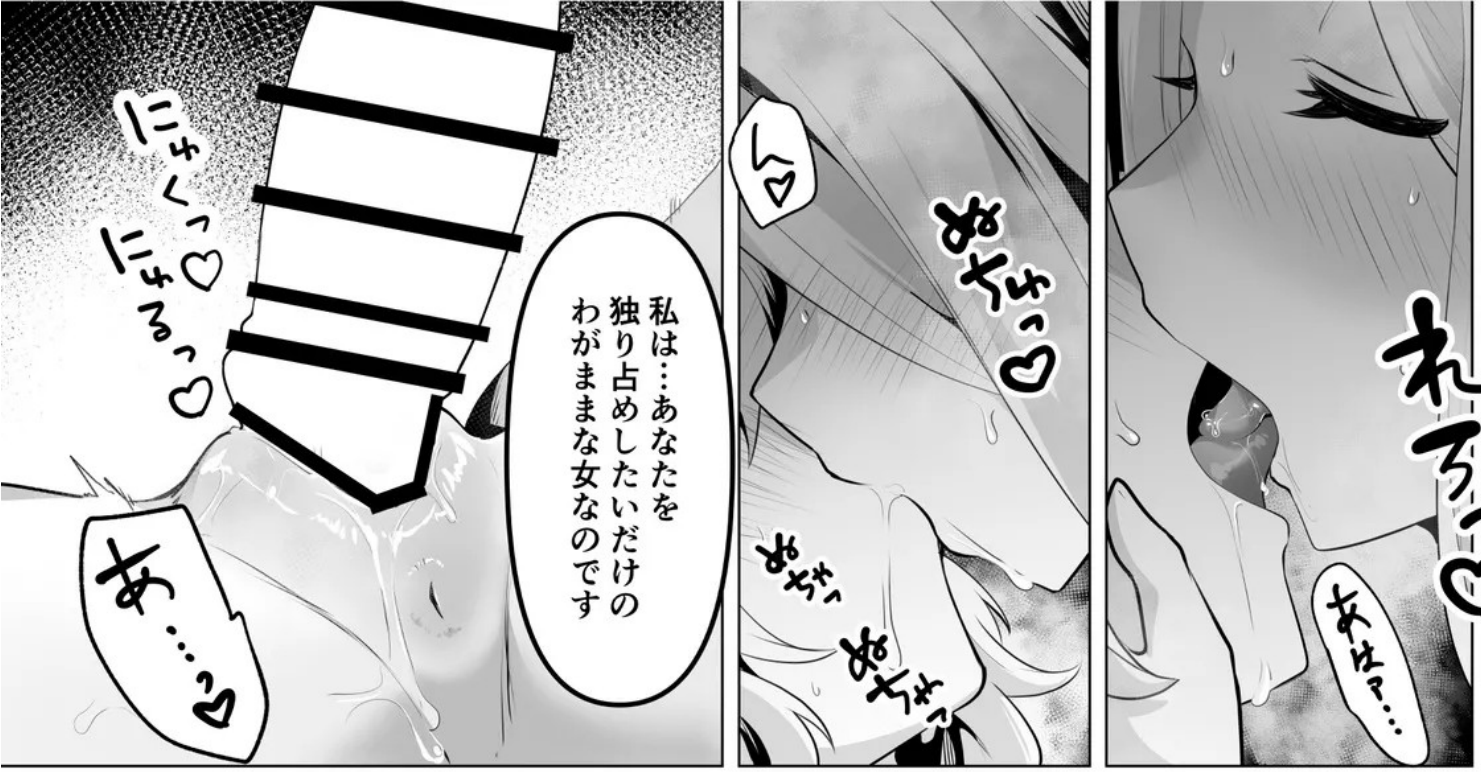

ありがとう
あーちゃん
私のために
全てを捧げてくれて


あーちゃんが
してくれたことは
私の一生程度じゃ
お返ししきれない
ハァ
ハァ

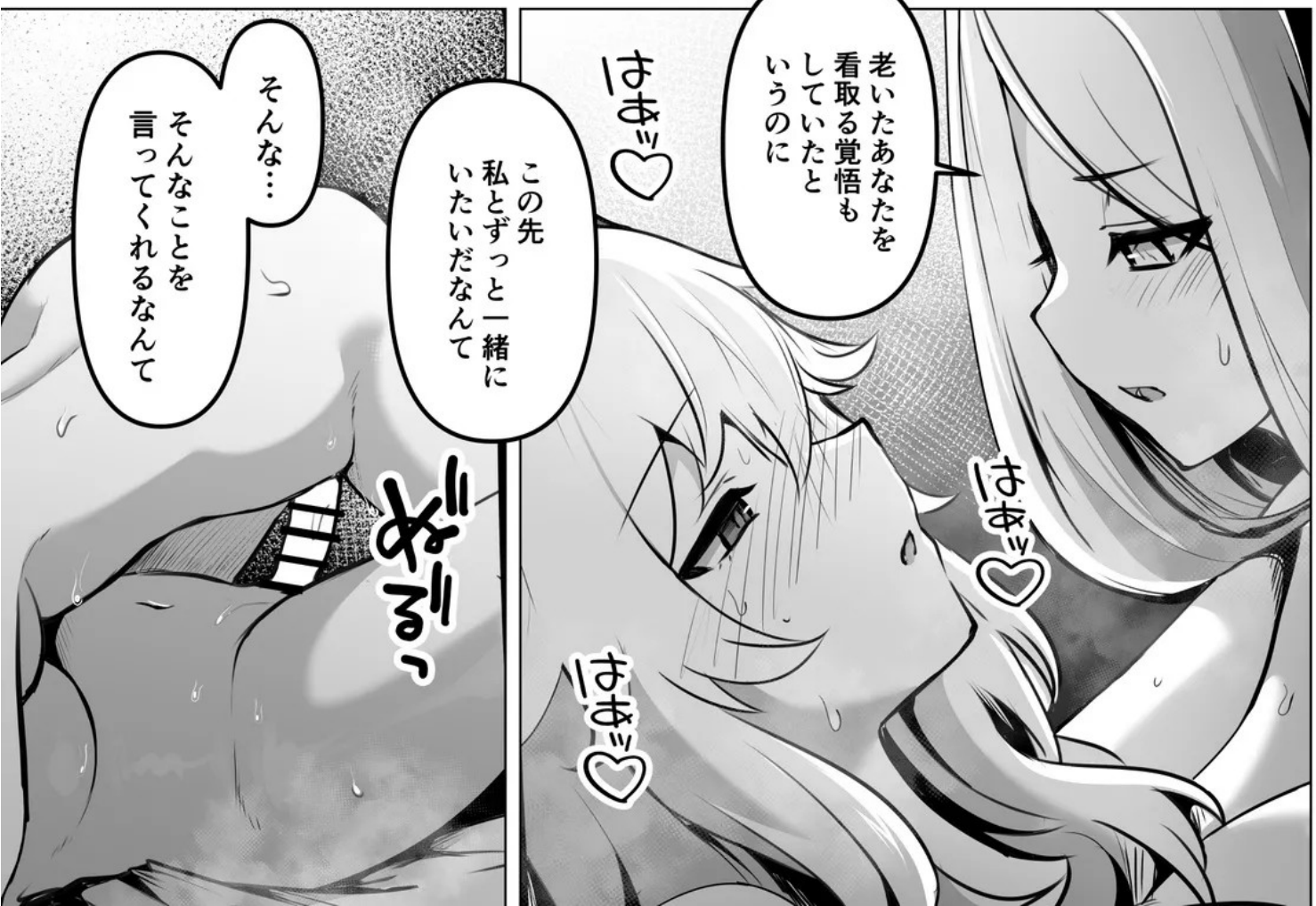

だからお願い


抱いて
あーちゃん
この先
何万回
月が満ちても


……
このバカ
バカ!!
このっ
ぽか
ぽか
えっ
よくもこんな…!
もお!
この先
何万回って
え だって
それって
「祝福」をマノアに?
え?
この先 永遠に?
わ
わ
わ
わ
本当に
意味が分かって言って
いるのですか!?
ぐいっ
あ…
あーちゃん
魔力制御が…
キィィィ…


れろっ♡
あはっ…
ぬちゅっ♡
ん♡
ぬちゃっ
ぬちゃっ
にゅくっ♡
にゅるっ♡
私は…あなたを
独り占めしたいだけの
わがままな女なのです
あ…♡


たとえあなたの
短い一生の間
だけでも
共に過ごせれば
それでいいと
ん…
むにゅ
むにゅ
あ♡


老いたあなたを
看取る覚悟も
していたと
いうのに
はあッ♡
この先
私とずっと一緒に
いたいだなんて
はあッ♡
はあッ♡
そんな…
そんなことを
言ってくれるなんて
ぬるっ


もうどう
なっちゃっても
知りませんから
ぷちんっ
!?
ガクッ
ガクッ
い…っ
イく…
イくの
止まらない…!
一瞬で何度も…
おぉぉぉ♡
イワイヴ

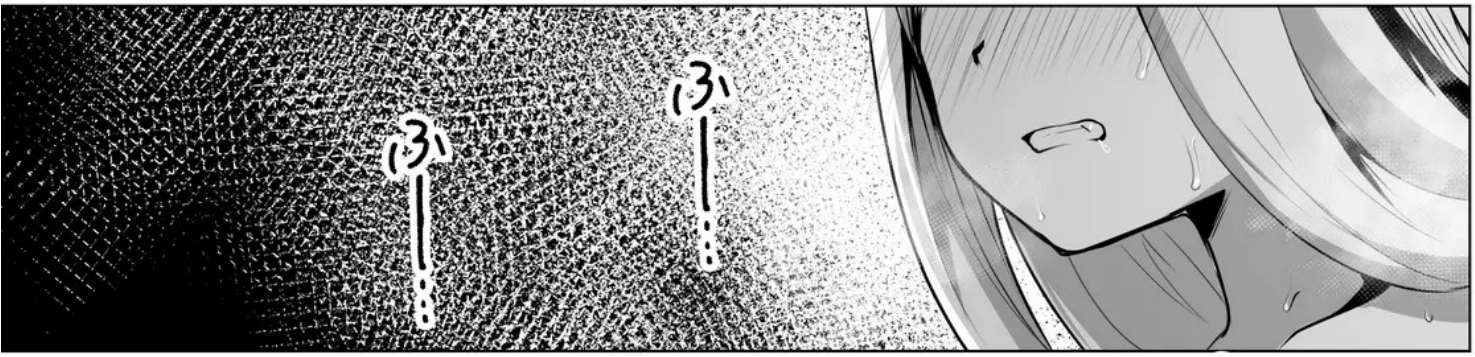

時間停止ですか？
あの時の…
ぱちん
おッおッおッ
ぱちんっ
おぉ
おッ
ビッ
ビッ
ビッ


はぁーッ♡
はぁーッ♡
ヴヴン…
ビクンビクッ
きゅん♡
ぷっ
これ…っ❤
キュン♡
キュッ♡
きゅんっ♡
きゃん♡
感度上がるやつ…❤！


だっ
ぴん♥
ぴん♥
ぴん♥
おっおっ
ちゅ♥
ちゅ♥
ちゅ♥
ちゅ♥
だめぇぇ
ビクッ!!
ビクッ!!
ビクッ!!
っ♥
!!
ぱちゅんっ♥
ぱちゅんっ♥
ぱちゅっ♥


たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡
おっ♡
おっ♡
あぁ
ぶるんっ
たんっ♡
ぶるんっ
ドボッ!!!


あっ
あーちゃ…
ぴゅっ
ぎもちいの
すごーい
ぴゃ
ぴゅっ


ふー…
ふー…


がばっ
ひゃあああ…♡
ちゅるるる。
チュ♡
チュ♡

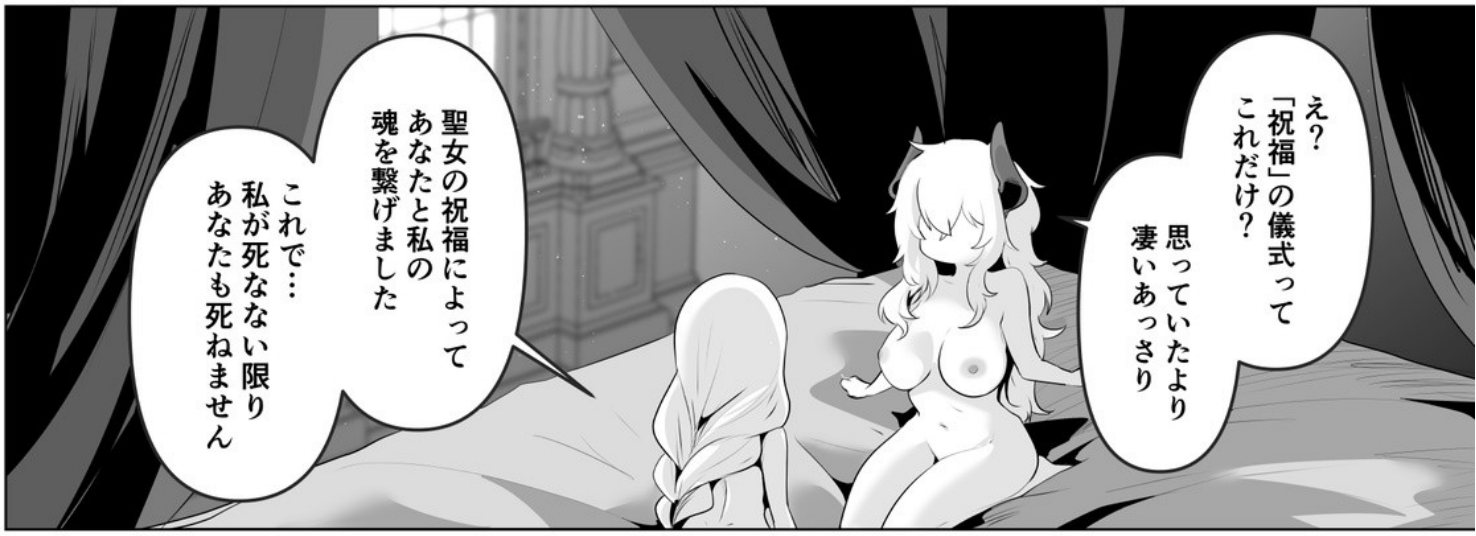

レロッ
レロッ
レロォ♡
あ♡
あぁ♡
ちゅうう
ゴレンゾ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
うう
おおおお

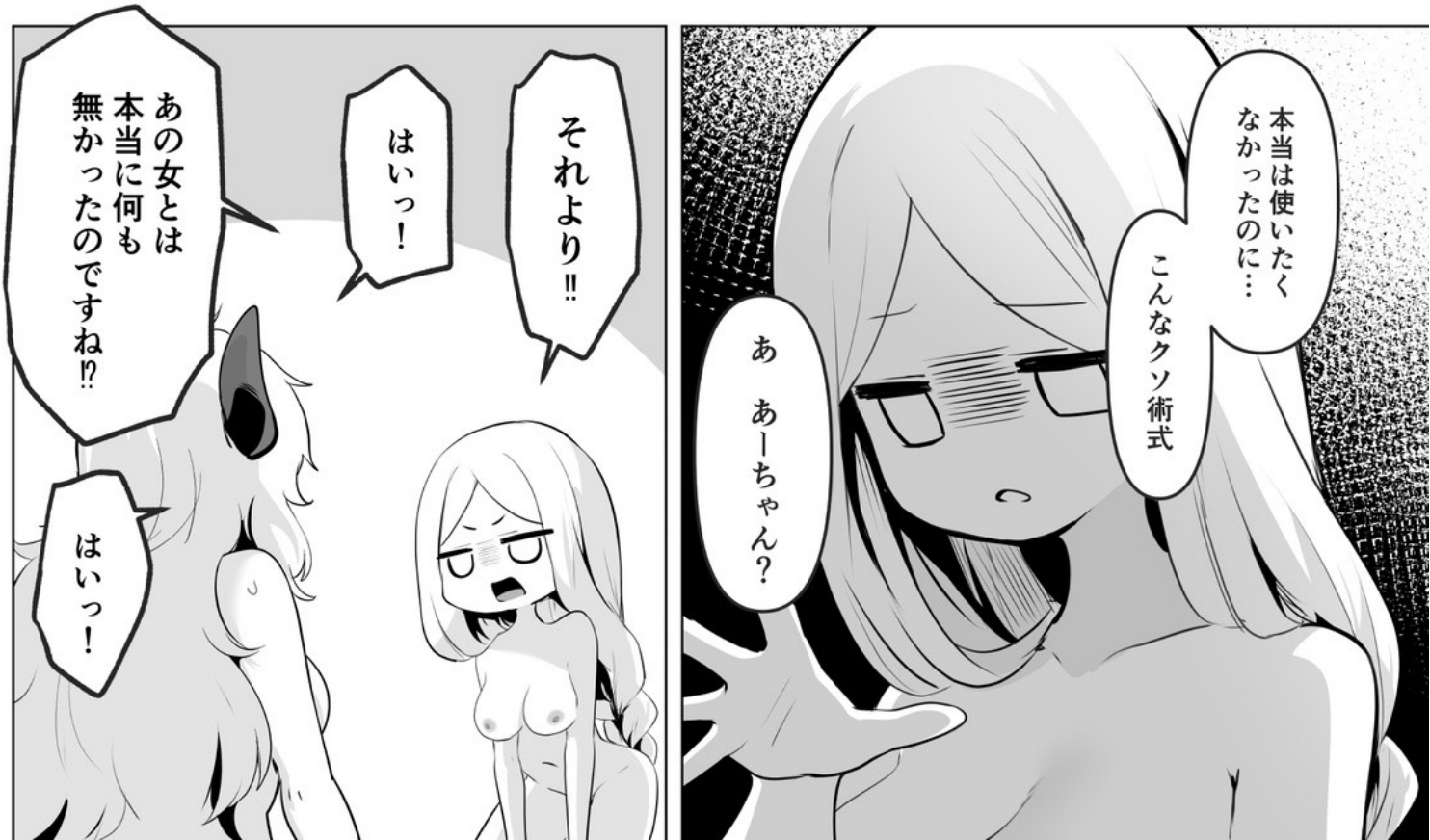

マノア…！
好き！
パン
パン
パン
パン
パン
大好き！
おっおっ
全部…っ
全部私のなのっ
ずっと
一緒にいて…！
私も…！
私も好き！
じゅぷっ
じゅぷっ
じゅぷっ
じゅぷっ
3P
一緒にイこ…!?
一緒！一緒！
イクッ
イクッ


あぁぁ♡
ぐぐぐぐ
びくびく
びくびく
どぱっ
どぱっ
どぱっ
みち…♡
みち…♡


びゅくっ♡
びゅっ、
ぴゅくん
とくっ、とくっ、とぷ…
ぬるるる…
ぬー
ぽん…
はーい♡
はーい♡
ハア♡
ハア♡
あーちゃん…
ちゅっ
ちゅっ


ふわ……
！
ヴゥン……


え？
「祝福」の儀式って
これだけ？
思っていたより
凄いあっさり
聖女の祝福によって
あなたと私の
魂を繋げました
これで…
私が死なない限り
あなたも死ねません


本当は使いたく
なかったのに…
こんなクソ術式
あ　あーちゃん？
それより‼
はいっ！
あの女とは
本当に何も
無かったのですね⁉
はいっ！


お部屋で
お茶しながら
お喋りしただけで
それ以上のことは
誓って何も
してません！
…そうですか
ならばこれ以上は
問いません


あなたが
私のもとから
去るのではと
本当に…
ぎゅ…


本当に
怖かったん
ですからね！


ぎゅ～ん
あーちゃんが
やっと甘えてくれた～
嬉しい～
ちょっと…！
からかわないで！

ずっと
一緒にいるよ
大好き❤

もう…！







マノア



ミノタウロスの
シスターさん。

いろいろでかい。
（角も含めると
１９０センチくらい）

皮下脂肪が多いので
全身むちむちしている。

でも筋肉密度が
人間の５～６倍あるので
とても力持ち。

生野菜が好き。
（肉は嫌いじゃないけど
ついつい野菜ばっかり
食べてしまう）

アナベラ





世界で６人いる
聖女様の一人。

めちゃめちゃ強い。

魔物のマノアと一緒に
いるために権力者側
である聖女になった。

世界よりマノアが好き。
とくにおっぱいが好き。


満月の前後3〜4日は
魔力バランスのの影響で
体内で母乳が多量に生成
されるミノタウロスの♀
あ…
えっ…
ちちあ…
ぴゅ〜

普段は普通の♀の身体

常にあるわけではなく
術式を使った時だけ
生える



満月物語1で
お嬢様が受けた呪いを、
興味を持った魔女が
術式として再現したもの

※前作「その身体でシスターは無理でしょ」に収録

お嬢様



なんか親族に
呪われてtntn生え
ちゃったんだけど!?

魔女



うわぁ おもしろ…
術式に落とし込んで
みましょ

アナベラ



それ、ちょうどいいので
もらいますね



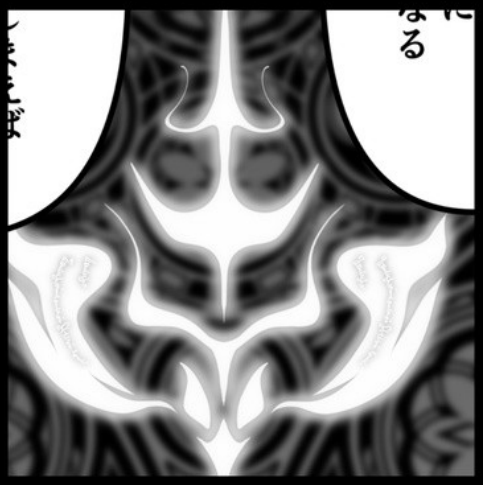
ヴィヴィアン

教会の最高権力を構成する聖女6人のうちの第三聖女。
教会の創立メンバーの一人であり、1000年前の
「人魔対戦」の時代から生きている。

人の恋路を応援するのが何よりの楽しみ。
彼女曰く女の子同士だとなお美味しいらしい。

本人は1000年前、初恋の相手の意見を尊重し、
祝福を与えることなく看取っている。

聖女の祝福



聖女の魂の一部を特定の対象の内部に
溶かしこみ、肉体をリンクさせる契約術式。

聖女は基本的に不老不死となるが、
肉体に修復不能なまでの損傷を負ったり、
封印によって行動が不可能になった場合、

この術式によって魂を契約対象に移動させ、
スペアの肉体として利用する。

（マノアを自分のバックアップとして
利用することになるので
アナベラはこの術式を使いたくなかった）

←
次ページからおまけ漫画
作品冒頭に入れようと思ってましたが
作品のテンポや感情描写等を考えて
おまけとして入れることにしました。
(時系列は前作後の、中央にマノアが来て
一緒に過ごし始めたころ)

古くから
伝わる
おとぎ話がある

かつて聖女は
自分が最も愛する者に
祝福を分け与え
不死としたが

相手は人としての
死を望み

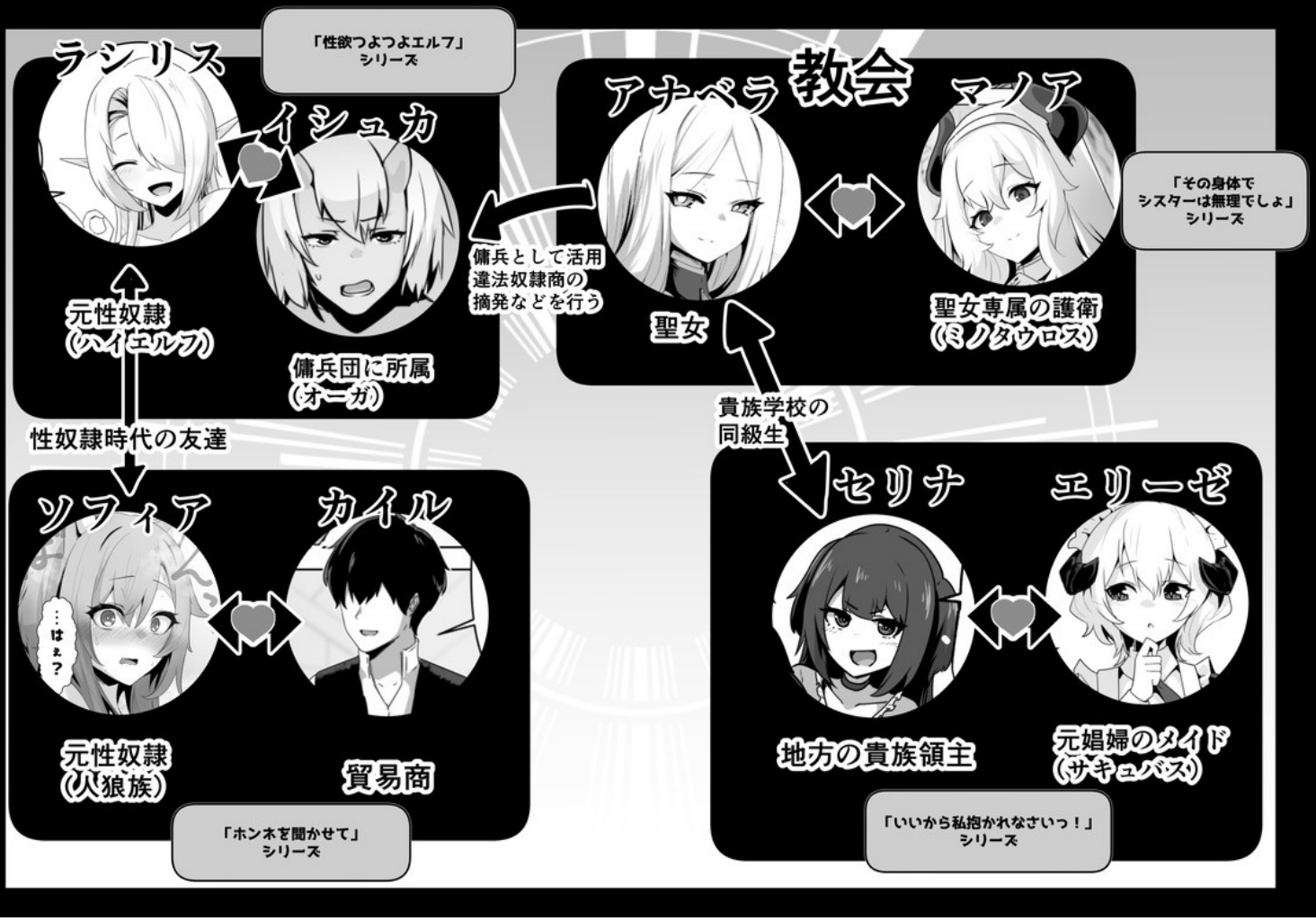
しかし彼女自身も
その祝福の
解き方が
わからなかった

祝福とは
すなわち呪い

良かれと思って
やったことが
必ずしも
いい結果になるとは
限らないという
そんな教訓のお話


すぅ…
すぅ…
ぎゃ…
このままいくといつか
寿命がきてお別れに
なってしまうけど
祝福する事が逆にマノアを不幸に
したらどうしよう…って
思ってる聖女様

満月物語シリーズ　相関図



あとがき

こんにちは　おてもとと申します。
今回もお手に取っていただき、
本当にありがとうございます！

今回は今まで以上にストーリー重視というか、感情面に
フォーカスする作品になったような気がします。

完全に私の癖(へキ)になるのですが、精神的なつながりの上に
肉体的な快感とかを乗っけたいタイプなんだなーと
最近自覚しました。

pixivでふざけて「今回は軽くNTR表現があります～」って
宣伝したらバチクソにキレたメールが6件くらい来たので、
性癖に嘘つくもんじゃないなって反省しています。

今後の作品もイチャラブ系の漫画になると思いますので、
ご縁がございましたらまた手に取っていただければと思います。
次こそページ数控えめで！

よければ評価やコメント・レビュー等していただければ
とても嬉しいです！

この度は「聖女様の弱点」をご購入いただき、
誠にありがとうございました！